



### 三步目 若松教会

2019年10月19日(土)もう一度教会おじゃまします in 若松でお訪ねしました。執事の西田さんから、「永町友恵牧師をお迎えして一番変わったことは、委員会活動が活発になったことです」と伺いました。委員の公募を「総務」「伝道」に絞り込んだことで、続けて礼拝出席している信徒の大半が、いずれかの委員会に所属する結果になったそうです。8頁にわたる詳細な教会資料は、諸教会から参加した皆さんにとって、何よりのお土産になったと思います。10教会33名の参加でした。

### 三步目 南小倉教会

2020年1月19日(日)もう一度教会おじゃまします in 南小倉でお訪ねしました。「教会の信仰告白」で「みんなの教会」という矢印を掲げてから、召天者記念礼拝の場が、偲びたい人の物語を聴いて、みんなで偲ぶ場に変えられたことを、今津屋美保さんが説明してくださいました。ご自分のお気持ちを含めて語ってくださったので、とてもよく伝わってきました。質疑応答では、谷本牧師に指名された教会員がよどみなく質問に答えていて、教会の事柄が我が事になっていることを感じました。11教会56名の参加でした。

### 第5回連合まつりの日程

2020年は東京五輪の関係で、スポーツの日が7月に移動します。そこで今回の連合まつりは2020年4月29日(水)に、地方連合年次総会・バプテスト大会に合わせて行うことにしました(10時~15時30分)。北九連マルシェは例年どおり行いますが、子どもプログラムはお休みとなります。なお今回から昼食は各自持参とさせていただきます。会場はシオン山教会です。3月に第1信と参加申込書をお届けします。

### これからの予定

- 2月11日(火)信教の自由を守る日集会(東八幡)14時
- 3月1日(日)憲法を考える勉強会(シオン山)15時半
- 3月9日(月)地方連合役員会(シオン山)18時半
- 3月15日(日)宣教支援センター推進会議(シオン山)15時半



### 宣教支援センターHP&Facebook

ニュースレターなどのバックナンバーを閲覧するにはパスワードが必要です。  
HP: <http://bapkitaq.jimdo.com>  
パスワード: kitag2015



# バプテスト 北九州地方連合ニュース

発行日:2020.02.02 | Vol.42 | 発行者:山崎克明

発行所:〒803-0846  
北九州市小倉北区下町津 2-15-21  
Tel: (093)561-0772  
Fax: (093)561-0760  
シオン山教会内  
北九州地方連合 総務財務委員会



## あふれるばかりの音楽の賜物

昨年9月23日(月・休)に、シオン山教会を会場に、礼拝音楽研修会を開催しました。一昨年、昨年と山中臨在牧師(品川)をお迎えして賛美についての研修会をしましたが、今回は7年ぶりに教会音楽の担い手としての実技研修に力を入れることといたしました。

リードオルガン5名、ピアノ4名、聖歌隊20名、プレイズ(ワーシップ)ソング9名、計38名の参加者が与えられ、午前・午後、それぞれ1時間半ずつの研修を行い、講師陣は楽器の構造や修理の仕方、また音楽の研修だけでなく他教会の事も知って祈る時を持ったり、それぞれ工夫をしたりして下さいました。

北九州地方連合には自前で4種類の分科会をリードすることのできる人材や教会が備えられていることに改めて気づかされ、感謝をする時にもなりました。

修了時のアンケートにもたくさんの方が応えて下さいましたので、次回の参考にするとともに、21,110円の席上献金は教会音楽委員会の活動費に加えさせて頂き、次年度の活動に生かさせて頂きます。ご報告が遅くなったことをお詫びいたします。

また、教会音楽委員会では、昨年行なった各教会へのアンケート調査をもとに、葬儀の際の奏楽者の協力が必要になった時は、教会音楽委員会が窓口となって派遣調整する試みを始めようとしています。今年度中に詳細を決め、各教会へお知らせいたします。

尚、それまでに協力が必要な場合は、教会音楽委員長までご連絡いただければ対応させて頂きたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。【美登恭子(高須)】

開催日時:2019年9月23日(月・休) 会場:シオン山教会

## PickUP! CONTENTS

- 集会報告 「第4回連合まつり報告」
- 各 会 「インドネシアにビデオレターを送ろう」
- 連 合 「第5回連合まつり日程のお知らせ」

郵便振替 01590-7-3255 加入者名 バプテスト北九州地方連合  
通信欄に「宣教支援センター支援献金」と明記してください。



## 第4回連合まつりを行いました

2019年10月14日(月)シオン山教会を会場に、連合まつりを行いました。テーマは「伝道しよう」。連合28教会のうち22教会から131名が参加しました。

全体プログラムでは諸教会の伝道を知る目的で、3つの教会に発題をお願いしました。

まずシオン山教会(藤田小四郎さん)から、教会創立100周年(2022年)記念事業についてのお話を伺いました。主題「感謝と前進—キリストと共に—」を掲げ、2019年度は西南女学院中高音楽部を迎えての100周年記念コンサートなどを開催したそうです。

若松教会(山本恵子さん)からは、15年目を迎えた「あじさいコンサート」を通して、一般市民の出演者がキリストに出会わされている証しを伺うことができました。2019年6月29日、第15回「あじさいコンサート」には300名もの参加があったそうです。

企救教会(原田義也牧師)からは、2019年9月15日に行った教会研修会「自分らしい最期を生きる」のエッセンスを、限られた時間の中で伺いました。「キリスト者の場合は終活ではなく生活そのものであるはず」という原田牧師のコメントが心に響きました。

昼食・休憩を挟んで、仮想の教会を設定し、伝道のアイデアを自由に出し合うグループ討議を行いました。お互いの顔と名前が分かるようになり、親しみがわいている様子でした。

今回初めて連合まつりに参加して下さった松藤宣教部長から、「教会は、教会のフィルターを通してしか、教会を見ていない」という投げかけをいただきました。多様性を尊重しながら共に生きる社会を実現するためには、イエス・キリストから力をいただくこと。そして私たち一人一人の、他者にかかわる勇気と覚悟が求められていると感じました。

一人でも多くの方と礼拝を共にしたい。そのような伝道への思いを新たにす一日となりました。会場教会をはじめ、諸教会の皆様方のご協力を感謝いたします。

【齊藤弘司(シオン山)】



## インドネシアにビデオレターを送ろう

連合女性会では、小羊会を組織することができない教会が増えている現状の中で、小羊会を導くリーダーの交流と育成の必要があると考えて、研修会を企画してきました。

連合まつりの子どもプログラムについて、小羊会顧問の伊藤光雄牧師(シオン山)や、宣教支援センターの齊藤弘司主事を交えて話し合う中で、連盟の派遣宣教師とビデオレターのやり取りをするというアイデアが浮かびました。

女性連合の米本裕見子幹事、連盟宣教部国外伝道室の井形英絵室長にご配慮いただき、インドネシア派遣宣教師の野口日宇満宣教師、野口佳奈宣教師ご夫妻との、ビデオレター交換をさせていただくことになりました。連合まつり当日に至るまで、計5回の打合せ会を行い、当日のプログラムに備えました。

子どもプログラムには9教会から子ども18名、付添・スタッフ19名の計37名が参加しました。初めにインドネシアから届いたビデオレターをみんなで観ました。現地のことについて学んだ後、賛美歌の一部をインドネシア語に直し練習しました。西野修平さん(北九州)の応援を得て、無事に動画撮影をすることができました。下関教会から参加したインドネシア人の姉妹たちと交流することで、子ども達の想像の翼が拡がり、自信をもって賛美を歌うことができたようでした。

午後は西南女学院第2体育館に場所を移して、北九州YMCAからお迎えしたレクリエーションリーダーのご指導で、体をおもいっきり動かして遊ぶ時間を持ちました。終了後に小羊会リーダーの方がた向けに、集団の動かし方のポイントについて教えていただくこともできました。

これからも、インドネシアについて学び、ビデオレターでの交流ができればと思います。

野口日宇満宣教師の定期帰国された折には、北九州地方連合のいずれかの教会で報告会を開いていただき、子ども達との再会の場を設けたいと願っています。

【小橋恵美子(下関)】

